

## 練馬図書館 図書館利用者懇談会

- 1 日時 令和7年11月5日(水) 14時～15時
- 2 場所 練馬図書館 会議室
- 3 出席者 利用者 5名  
図書館 4名 (練馬図書館長、副館長、職員、主任図書館専門員1名)  
生涯学習センター 1名(所長)
- 4 テーマ 「地域の求める図書館とは」
- 5 配布資料  
(1) 練馬区教育要覧(令和7年版抜粋)  
(2) これからの図書館構想(一部抜粋)

### 練馬図書館利用者懇談会 会議録

- 1 練馬図書館長挨拶
- 2 職員紹介
- 3 参加者自己紹介
- 4 懇談

**図書館** 今回のテーマは「地域の求める図書館とは」です。最近テレビ番組でも図書館は、そこに行けば知識や知恵が得られるというような役割が重要視されていたけれど、今求められているのは地域の課題を解決する方向ではないかという話が紹介されていました。

配布資料の図書館構想は、練馬区の図書館として10年間で取り組んでいこうという内容が掲載されています。毎年、重点的取組も定めています。昨年は3番目「交流が生まれ、新たな知が創造される」が重点取組みでした。

右側に詳細があります。一番下の「おしゃべりタイム」は去年の懇談会でも話題にあがりました。かつての図書館は静かにしなければいけないところというイメージだったと思います。最近はそれだけではなく、静かな人は静かなスペースで、それ以外の人は、ある程度にぎやかで交流ができるようなところとして図書館があってもよい、求められているのでは、ということで実施した取り組みです。光が丘図書館で実施したときは、好評いただいた反面、実施会場の2階から吹き抜け部分で繋がっている1階にも声が届くということで、ちょっと違和感を持たれた方もいらっしゃったと聞いています。練馬図書館でやろうとすると、スペースが課題です。

先ほど、なぜ当館には会議室がこれしかないんだというお話がありました。この建物は生涯学習センター併設で様々な部屋があります。人数を集めたいときには、センターのスペースをお借りして実施しています。

また去年は、人と人が交わることがテーマでしたので、「保育付きブック

タイム」という事業もやりました、保育士さんに来ていただき、生涯学習センター保育室でお子さんをお預かりして、2時間のあいだ保護者の方に図書館で自由に本を読んだりしていただく事業です。去年から始め、今年は2回実施で、今月に第2回目が行われる予定です。こちらは、練馬区の別の機関との協働という形で実施しています。

令和7年度は、資料4番目の情報へのアクセス支援、デジタル関係について重点的に事業を行っているところです。

今年のお正月に図書館システムの更新を行いました。更新に伴い電子図書館や利用者カードの電子化など、新しい機能が追加されています。また、外の掲示板にあるように、東京都の事業で「くりらぼ」という小学校低学年向けのプログラミング体験を当館でもやる予定になっています。

様々なイベントを行っていますが、以前は電話で申込みを受けることが多く、受付初日は30分ぐらい電話が塞がりっ放しということが多かったのを、システム更新に伴って、基本的にはシステムから申し込んでもらうと取組も始めました。

ただ、今年度にやってみたら申込み件数が前より減るということがありまして。イベントによっては当日、先着順という方法も考えているところです。利用者の皆さんにとって参加しやすい形は、改善点を見いだしながらやっていこうかなと思っています。

また、毎年、利用者アンケートを行っています。練馬図書館にいただいている意見は空調のことが本当に毎年多いです。去年の夏、空調がいつ壊れるか分からないというような状態がありました。今、この建物は工事中ですので、来年の夏には新しい機械が入ります。

暑い寒いだけでなく、空気がよどんでいるような感じがするというご意見もいただき、現在空気を動かす扇風機の増設を検討しています。

新しいことに取り組む以外にも、図書館としての基本は、やっぱり蔵書、そこに力を入れていくべきとの声もいただいています。

それからこちらに10月に発行の図書館だよりがあります。今回は練馬図書館を特集していただいております。バックヤードツアー、これは毎月第二水曜日の午後20分程度かけて閉架書庫などを見ていただきます。こちらツアーは大体20分ぐらいかけて実施しています。これはふだんなかなか見られないところなので、アンケートでも、参加した方からご好評をいただいています。面白かったです。

**利用者  
図書館**

ありがとうございます。閉架書庫も狭いところなので、ふだんから皆さんに入っていただくというようなことはなかなかできませんけれども、また機会を見ながら活動を続けていければと思っています。

さて、この辺で、皆様からご意見等いただければと思います。

**利用者**

デジタル化でイベント申込みが少なくなったというのは、私もそうなんですけど、本当にスマホが苦手なんです。スマホで申込みとなると、躊躇する人も多いんじゃないかなと思うんですけど、例えば図書館利用に関することだ

けのスマホ教室とかはどうでしょう。

**図書館**

今年一度、実施しました。残念ながらその機会には、図書館利用以外のスマホそのものを知りたい方が多い状況でした。ニーズに合うタイミングというのがなかなか難しいと実感したところです。窓口では、時間の許す範囲にはなってしまうんですが、バーコードで利用者カードを表示する方法などの説明をしたりしているので、お気軽にお声がけいただければと思います。

**利用者**

お母さんたちが館内で本を読んでお子さんを預かるというときには、絵本も活用しながら、職員の方が読んであげたりとかもしていらっしゃるんですか。

**図書館**

保育付きブックタイムという事業は、いわゆる保育士さんの派遣などをしているところと契約して保育をお任せしている状態なので、基本的に保育士さんがそのお子さんに合わせて保育します。お子さんの年齢もバラバラなので、図書館と連動しているから本を読んでとお願いするのは、ちょっと性質上難しいところではあります。

どちらかというと、お子さんが小さいと保護者の方が自分だけの本を読む時間はなかなかお持ちになれないと思うので、そちらの方が図書館で過ごされる時に安心していただけるというような流れになっています。2年ぶりに本の結末が読めましたという参加者もいらっしゃったので、図書館の時間をお楽しみいただけたかなという感じです。

**利用者**

せっかく図書館に来ているので、月齢にあった子に本を読み聞かせてあげたらと思ったので。職員の方が一緒だと思ったものですから。

**図書館**

ありがとうございます。私どもも、職員の数に限られている中でやっているということもあり、ご協力いただきながら取り組んでいるところです。

**利用者**

分かりました。ありがとうございます。

**利用者**

はつらつセンターにご縁ができて、紙芝居と読み聞かせに行ってきました。2年ぐらい前は練馬図書館がはつらつセンターに行って、高齢者の方たちのための本の紹介など行っていたと聞いたんですけど、それがなぜ今はしていないのかと思っています。

**図書館**

去年までは2か月から4か月に1回ぐらい、はつらつセンターにお伺いしてブックトークなどを行っていました。今年度は、センターでイベントの見直しをされるということで、どんな形で図書館が協力できるかご検討いただいている状況です。今のところ私どもはお待ちしているところです。

**利用者**

そうなんですね。

**図書館**

その代わりというわけではないのですが、別の江古田にある高齢者向け施設から図書館から本を借りたり、司書が本を紹介したりできないかという相談をいただき、取り組み始めたところです。

**利用者**

はつらつセンターがまた来てくださいますか。

**図書館**

タイミング、内容をお話いただけたらご相談できるのかなと。

**利用者**

ありがとうございました。分かりました。自分はセンターの子ども交流食堂のときに、30分お楽しみとして、紙芝居と読み聞かせをしました。保育園の子がいて、小学校の子がいて、中学校の男の子たちがいて、高齢者の、特に

おばあ様たちがいらしたんですけど、会場でいろんな交流ができて、それなりに楽しんでいただけたかなと思っています。

中学生の男の子たちは職場体験で来た子たちだそうで、私の言うことに対してちゃんと答えてくれたり、すごくいい感じで30分終わったんですね。

**図書館**

そういう異なった年齢の人たちと交わるということもないですから、本当にいい経験になったんじゃないかなと思います、その子どもたちも。

以前、はつらつセンターの中で子どもたちがイベントをするときに、練馬図書館でも読み聞かせに行くなどの協力をさせていただきました。

**利用者**

あそこに、子どものための本棚みたいなものがあるといいなと思いついてきたんですけど、それはすごいハードルが高そうですね。

**図書館**

はつらつセンターは高齢の方が主に使われる施設なので、本棚はありますけれど好みの幅は違うかもしれませんね。

**利用者**

分かりました。ありがとうございます。

**利用者**

ここは駅からかなりあります。返却だけのために図書館に来るというのは結構しんどいので、できれば通勤圏の駅のところなどにポストがあったら便利だなと思うんですけど、ちょっとぜいたくでしょうか。

**利用者**

私も返却でここまで来るのが大変なときは、豊玉リサイクルセンターに行つて返します。

**図書館**

便利なところにポストというご意見ですが、なかなか練馬駅付近ではできていないところでもあります。ポストにある本を集めて運搬したりする必要もありますので。

**利用者**

例えばココネリなんかは区（のもの）でしょう。光が丘だったら区民センターとか、ちょっとコーナーがあれば。産業プラザに入るといいな。

**図書館**

こういうご意見がありましたということで記録させていただきますが、すみませんが、ご理解いただければと思います。

**利用者**

そうですね。それから、新しい資料は、結構待ちが多いです。リクエストを出してから1年、1年半待つてというのもよくある。もう少し需要と購入のバランスを考えていただいたらいいのかなというふうに思います。

**図書館**

予約多数の場合は購入検討させていただいています。

**利用者**

待つのがあれだから読むのを諦めちゃったり。

**利用者**

図書館で、例えばもう読み終わって捨てるというような本を寄贈してもらえませんかみたいな、こういう本が足りていませんみたいな形でアピールするということはできないのかな。

**図書館**

買えるものは購入で対応しています。寄贈だと、その本の状態がどんなものかというようなことがありますし。

**利用者**

例えば今回、芥川賞とか、本屋大賞とか、そういうときはみんな予約するんですよ。全員その本をずっと持っているとは限らない。（購入した方が寄贈を申し出た場合は）一応いただいて、中を見て、貸出しをして、いらなくなったらそれこそまた破棄できるというような考え方ができないのかな。

**図書館**

図書館から、予約がたくさん入っている本をご寄贈くださいという呼びかけ

をしたことはないですが、利用されている方から、予約が多く入っているのをご存じで読み終わったので寄贈します、とお持ちくださることはあります。そうなんですか。

**利用者  
図書館**

まだきれいな状態なので利用してくださいというお申し出をくださる場合に、本当にありがたく蔵書にさせていただくということがあります。

**図書館**

寄贈呼びかけの発信をしているところも、練馬区ではないですがあったかと思えます。ただ、大分前に、図書館の複本をどのぐらい入れるかという問題になったこともあります。たくさんの同じ本が、予約が終わったら棚に並んでしまうというの問題です。

**利用者  
図書館**

そういう問題もあるんですね。また、図書館が呼びかけたら応えてくださる方もいらっしゃるかもしれませんが、書店さんも売上げが厳しい中で、図書館がどんどん複本を持つことが果たして一番の解決策になるかという点も難しいですね。

今すぐこうします、と申し上げられないんですが、待ちが長すぎると読書のチャンスを逃してしまう方がいるというのはおっしゃるとおりかなと思います。寄せていただいたお声があるということ、図書館全体として共有できるかなと思います。

**利用者**

私自身も、今はやりだからといってたくさん買うのは大反対なんです。図書館はそういうものではないと思っている。でも買おうと思う人は買うんでしょうし、それだったら寄贈してもらってもいいんじゃないかと思ってお話ししました。分かりました。

**図書館**

賞の関係ですと、先日ノーベル文学賞の発表がありましたが、国内での発刊が古く、購入が難しいものもあります。他の自治体と相談したりしますが、そちらの自治体で予約があるとお借りできない場合もあります。

**利用者**

そういうこともありますね。ありがとうございます。

**利用者**

他の自治体の図書館に行くと、館内で検索した結果のレシートが出ます。練馬区はレシートが出なくて、自分で書かなきゃいけないんですよ。

友人に、お正月にシステムを変えたのに、そこが変わっていないのがとても残念だったと言われて、その方に、利用者懇談会があるから光が丘で言いますと言ってあるんです。せっかくだからここでもお伝えします。

**図書館**

そうですね、全体に関わることだと、光が丘で。

**利用者**

そうします。

**利用者**

私は、皆さんみたいに詳しくないのですが、はつらつセンターなどにどなたかが行くという事業は、本日の資料にあるのでしょうか。そういう取組を全然知らなかったのです。

**利用者**

それは練馬だけでやっているんですけど。全図書館ですか。

**図書館**

本日の資料（教育だより抜粋）に個別の掲載はありません。取り組みは各図書館で、その地域の様々な人と協力して行っていると聞いております。

（資料提示）構想の資料のコンセプト1の3番目にアウトリーチの強化という記載があります。地域の子育て支援施設や、障害のある方の施設、高齢

者の施設などへの出張講座の実施はこちらに位置づけられています。立地に影響を受けることもありますので、全館でどれぐらいというのは、全部は把握できていないのですが、基本的には、団体への3か月の貸出の協力や、機会があるとブックトークなどを行う取り組みを進めています。

**利用者  
図書館**

資料のどこですか。

コンセプト1の施策のところですか。コンセプト3番目の交流が生まれるというところにも、ミックスでかかるようなイメージかなと思っております。

**利用者**

なるほど。

あと、最近はAIが広がって、調べものをしてまとめていくというプロセスがすごく簡略化されている。確かに便利になったけれど、そういう時代に図書館にあえて行くという魅力、モチベーションは何だろうとずっと考えています。サードプレイスみたいな居場所としての図書館という機能もあるでしょうが、リアルに本に触れられ、本が集合体としてある。その集合体としての本を、集合体として活用するような経験ができるとしたらすごくいいだろうなど、いつも思います。ただ、練馬の図書館は空間がすごく狭いから、やれることは限られているなとも思うのですが。

例えば休館日を使って、近くの学校の子どものための出張教育や出張学習のように調べもの学習をやってもらうとか、何か図書館のリソースを体系的に活用できるような経験をさせてあげられないかなと思いました。

学校図書館もそういう役割がありますが、蔵書の限りもあるし、どうしても学習指導要領などに引っ張られた蔵書になる。空間も狭い。だから、区立図書館で子どもの頃から本に触れることと本を使うこと、本の力を知ることを経験できるというかなと思いつつ皆さんの話を聞きました。

これは（図書館勤務者の）休日を減らす話だし、人手も含めて課題がいっぱいあるでしょう。練馬の図書館は、全体に頑張つて何とか図書館の機能を発揮しようと努力なさっているけど、空間的にも人的にも書庫のことも含めて、図書館に本来必要なゆとりというのがあまり感じられないところがある。そういうものをつくっていくという発想の中で、ぜひ時間も捻出して使い方を変えるというのものもあるかなとも思っていました。

ここの書庫も1回見せてもらったことがあります。狭いなど。お話を聞いていて、練馬区全体の書庫自体が満杯に近いのでしょうか。本を捨てるしなくなってしまう。これは光が丘図書館で言うべきなのかもしれないけど、練馬区全体で書庫のキャパシティを高めることは考えていらっしゃるんですか。

関連して、練馬図書館はもともと大規模改修が近かったのが伸び伸びなっていて、大規模改修でどこまでいじれるかなかなか分りにくいんですけども、解体された旧情報公開室、今は更地になっているんですね。増築してしまうと大規模改修の範囲を超えてしまうけれども、図書館の空間をどう増やしていくかは考えた方がいいんじゃないかなとも思っています。この辺りのお考えを聞かせていただけるといいかなと思います。

## 図書館

図書館では、予約の本を借りる方も多いのですが、実際の貸出数では、館内の棚にある本を借りる方の方が多いです。棚の本を見て自分で選ぶことに喜びや楽しみ、癒やされている方は結構いらっしゃるんじゃないかなと思っています。

先ほど休館日の活用の話をいただきました。休館日は、休館日にしかできない作業をする必要があるので難しいところではありますが、以前何回か、「図書館マスターになろう」というようなイベントを実施し、小学校3年生だったかな、遊びに来ていただいたことがあります。休館日の図書館で、ヒントをもとに自分たちで本を探すというイベントでした。

休館日しかできないというような企画はこれまでもありましたし、今後も、できることを考えながらやらせていただければと思っています。先ほどのバックヤードツアーも今は平日水曜日に行っていますが、もっと違う時間帯にやったらいいのではというご意見もいただいたので、これからも充実に努めたいです。

書庫に関しては全体に関わることでありますので、各図書館の隙間を少しずつ使う、あるいはどこかに新しい書庫、施設ができるかというようなことも検討していくことになると思います。

## 利用者

大規模改修は結局、生涯学習センターも一緒に予定が立っていないですね。貫井図書館がどうなるかとか事情があるでしょうけども、私は早くやってほしいと正直思っています。

大規模改修のときは書架のレイアウトなどをいじるじゃないですか。物理的に空間の制約があればどうしようもないけれども、書庫の中にまとまった空間をつくり、その空間を生かして本を利用するという使い勝手を担保していくのはすごくいいかなと思うんです。学芸大附属の中高一貫校の学校図書館を見に行ったときに、すごく感心したのですが、空間がまず広いです。2クラスが入って授業をやれる。子どもたちが本とか視聴覚教材を使いながら、自分たちでテーマを決めて、素材を見つけて、授業を受けていくというのを当たり前に行っている。これは学校図書館の本来の役割ではあるんでしょうけども、地域図書館、公共図書館でも、そういう経験の場を提供できたらいいと思う。

大規模改修が来たら、ぜひ、特に現場の方のアイデアを生かしていただいて、これからの図書館にふさわしい機能やレイアウト、空間づくりをやっていただけるといいかなと思いました。

## 図書館

ありがとうございます。大規模改修がいつになるか目途が立っていませんが、もともと大規模改修を計画しているときに、閉架の書庫の収納力向上を計画する、あるいはスペースを広くもつこともできるんじゃないかなど、検討させていただいたきました。その時から年月も経ってしまっていますので、改めて検討することが大事だと思います。できることは限られていますが、きちんとやりたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

## 利用者

分かりました。

**利用者** 私は住んでいるところは別の区です。その区と隣接区とこの練馬の図書館、3区を利用しています。

先ほど予約のお話がありました。3区で利用していると練馬の図書館はすごいなというところがありまして、一つは、新聞などで、面白そうな本をみて予約しようと思ってインターネットで検索すると、練馬が一番早いです。他の2区は登録がすごく遅い。練馬の1か月半遅れぐらいは全然ある。そして練馬区は、とにかく予約数が非常に多いですね。同じタイトルの本を購入している数、複本は少ないですが、それでも買ってる方に見える。他の2区を見ると1冊しか買っていないこともあります。

また、システムが新しくなって、オーディオブックが無料で聞けて楽しめる。存在は知っていたんですが、耳から聞くという楽しみも経験できました。よくない面もあるかもしれないですけど、自分が3区を利用している中で、すばらしい点もあるんだなというのを紹介したいと思いました。

**利用者** 練馬区は図書館のY o u T u b eもありますよね。

**図書館** 皆様、図書館のことをいろいろとお気遣いいただきましてありがとうございます。皆様のおかげで何とか運営できておりますので、今後ともご協力いただければ幸いです。今日は、本当に貴重な時間をいただきまして、どうもありがとうございました。

**利用者** ありがとうございました。